

## 第5学年 しげくらタイム学習活動案

日 時 平成16年10月27日(水)5校時  
児 童 第5学年 男11名 女14名 計25名  
授業者 教諭 菅野 敏

### 1 単元名 米作りの移り変わりを調べよう

### 2 単元について

#### (1) 活動の経過と内容について

第5学年の総合的な学習において、「課題解決に必要な事項を見通し、計画を立てる力」「物事を総合的にとらえ、資料を効果的に活用する力」を培うことを目指し学習を進めている。

「米作りを体験しよう」の体験活動と平行しながらの2単元構成ではあるが、互いに関連させながら効果的に学習活動をしていくことをねらいにしている。また、社会科の「食糧生産にはげむ人々 (1)稲作にはげむ人々」で学習したことを、更に補充・深化、発展させていける内容となっている。

#### (2) 児童の実態について

3年生では個別テーマで川の生き物や虫の観察、木の実の収集等を行い、4年生では米崎のリンゴを題材に体験と調査活動を行い、手話や点字についても学習して来た。これらの学習で、一人一人がテーマ(課題)を決め、同じようなテーマ毎にグループを組んで調査し、調べたことをグループ毎に発表するという学習を行っている。その中で、自ら学習することの良さを知り、積極的に活動する児童になりつつあるが、主体的に課題意識をもち、自ら解決して行こうとする力はまだまだ十分とは言えない。課題解決の方法や手段も分からない場合が多く、教師に依存する傾向も強いのが実状である。

また、稲作についての実態は、自分の家、又は近くの親戚で米作りをしている児童は10名、田植えの経験のある児童は7名、稲刈りの経験のある児童は6名であり、大部分の児童にとっては知っているようで知らない状態である。

#### (3) 活動を進めるに当たって

活動を進めるに当たっては、まず社会科の授業と田植え体験を先行させて、稲作の大まかな作業の流れや現状を学習させ本単元の導入の意欲付けとし、課題意識を持たせていきたい。解決手段の立案や解決活動では、学校外へ自ら足を運んで聞き取り調査したり、実物を見学したりさせ、できるだけ直接的な経験や資料を大事にして解決活動を進めさせたい。解決活動の途中で中間発表の機会を設定し、友達からの意見を参考に再考させ、工夫や努力した事項の見方と調査のレベルアップを図っていきたい。まとめでは、まとめかたや発表方法についても自分で選択させ、自分なりの考察を加えながら、分かりやすく効果的なまとめについて考えさせたい。

#### (4) 国語科「説明的な文章」の学習との関わりについて

国語科「説明文」の領域で学習した文章の基本構造や分かりやすい説明の手法あるいは重要語句の選択・抽出といった事項は、テーマ学習の様々な活動に生かされていくと考えられる。稲作に関する人的情報や文献資料は比較的多いので、特に、稲作農家の方へのインタビューやJAからの参考資料の情報選択など解決活動や、まとめ段階における稲作産業の考察や説明に大きく関わってくるものと考えられる。

### 3 単元の目標

- 児童の気付きや主体的な活動を大切に、地域の人、もの、自然を素材とした体験や出会いを通して、子どもが自ら課題を設定し、追求・解決していく学び方を身につける。
- その中で身につけた学び方を、自己の活動に生かそうとする態度を養う。
- 実際の米作り体験と社会科で学習した稲作農業をもとに、米作りがどのように変わって来たか、その変遷について調査し、これからの米作りについて考える態度を養う。

### 4 単元の活動計画（25時間）

段階	主 な 活 動	育てたい力	時間
情報収集	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の今年度のテーマとその内容について知る。</li> <li>・田植え体験や社会科での稲作学習を思い起こしながら、テーマ学習の進め方について話し合う。</li> </ul>	<p>テーマを理解する力 活動に興味関心を持つ態度 課題を見いだす力 これまでに得た知識・経験から結果を予測する力</p>	2
課題設定	<p>自分なりの課題を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米作りの一年間の仕事について思い起こし、興味ある仕事や疑問について話し合う。</li> <li>・米作りの仕事内容や方法、道具や機械などについて自分をもっと調べてみたいことを決める。</li> <li>・個々に課題を設定し、お互いにその意図を発表し合う。</li> </ul>	<p>&lt;国語との関連&gt; 自分の考えを明確にししながら、計画的に話し合う力</p>	2
仮説設定	<p>課題に対する結果の予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苗作りや使用機械の変遷、品種改良や農薬使用の変化など、それぞれが抱いた課題に対する結果を予想する。</li> </ul>		1
解決手段の立案	<p>課題を解決するための方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報（資料）や調べる方法について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 米作り農家を訪問し、詳しく聞く</li> <li>イ 市立博物館を見学する</li> <li>ウ JA米崎支所や農業試験場を訪ねて聞く</li> <li>エ 図書館の本や百科事典で調べる</li> <li>オ インターネットで調べる</li> </ul> </li> </ul> <p>解決するための計画立案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決方法の種類別にグループかを図り、効率的に調査活動が進むように計画を立てる。</li> <li>・行き先や時間、調査内容や質問事項、記録の仕方などを予め決めておく。</li> </ul>	<p>仮説を確かめようとする意欲・態度 活動計画を立てる力 情報を聞き取る力と読み取る力 情報を比較・分析し、総合的に考察する力 最後まで解決活動に取り組む態度</p> <p>&lt;国語との関連&gt;</p>	2

		必要な図書資料を選び、 目的や意図に応じた的確	
解 決 活 動	それぞれの課題についての解決活動 ・依頼状を書き、届ける（または電話での伺い）。 ・校外へ出て、見学や体験、聞き取り調査など情報を収集し、課題について考察する。	に要旨をとらえる力	5
	----- 収集した情報についての考察（中間まとめ） ・分かったことを整理したり、自分の予想と比較したりする。 ・更に深く探ったり、広く調査したいことについて考察する。 ・中間発表会をし問題点を明確にし、新たな課題解決への意欲化を図る。		4  本時 3 / 4
	----- 2度目の調査活動 ・課題の焦点化を図り、内容を深める。 ・必要であれば再々調査をする。		3
ま と め	分かったことのまとめ ・いろいろなまとめかたや発表の仕方を知り、自分なりに考え、作業を進める。  発表会 ・米作りの移り変わりについて発表会で発表し合い、感想を出し合う。	結果や考えを順序立ててまとめ、分かりやすく表現する力 自分自身をより高めていこうとする態度	5
振 り 返 り	学習活動の振り返り ・一連の学習活動を振り返り、その努力や成果を互いに認め合う。 ・学習活動に取り組んだ感想を出し合い、これからの食生活や稲作を中心とした日本農業の将来について考える。	< 国語との関連 > 自分の意図が分かるように工夫して話し、要点を押さえながら聞く力	1

## 5 本時の活動

### (1) 目標

自分たちで調査し集めた資料を、整理や選択、書き換えしたり自分の予想と比較したりして、米作りのがどのように変わってきたかその変遷について考察する。また、更に深く探ったり広く調査したいことについても見通しを持つ。

### (2) 国語との関わり

必要な文章資料や図表等を選んだりして、目的や意図に応じた的確に要旨をとらえる力を総合的な学習の活動に生かそうとすること。

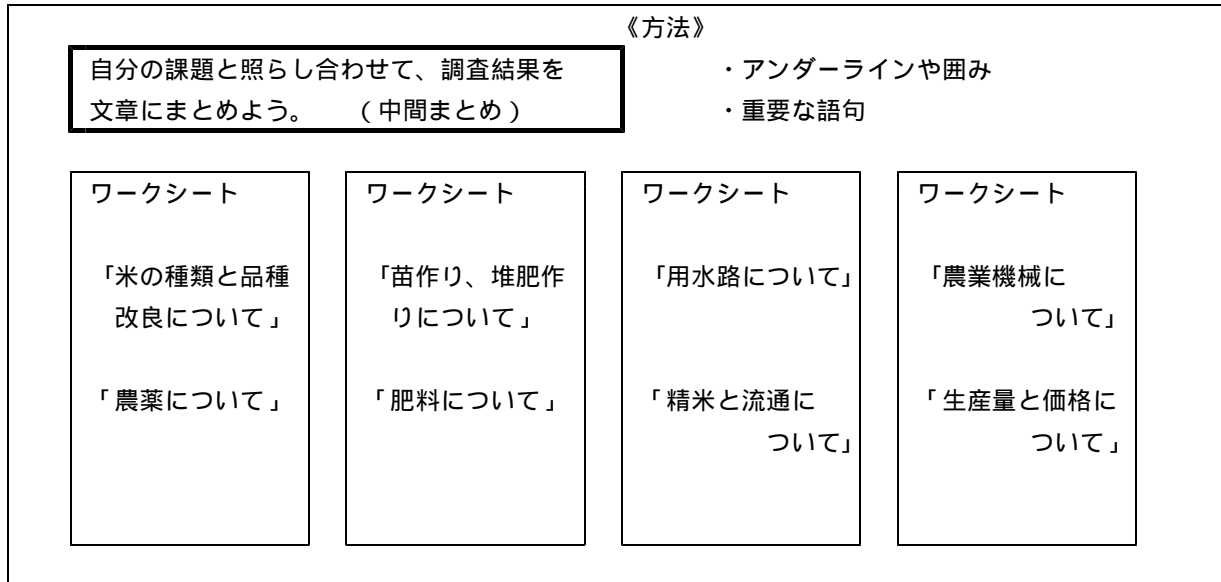
### (3) 展開

段階	学 習 活 動	教師の支援と留意点	評価の観点
つかむ 5分	1 これまでの活動を振り返る。 2 本時の活動内容をつかむ。 自分の課題と照らし合わせて、調査結果を文章にまとめよう。( = 中間まとめ)	集めた資料を準備させ、これまでの活動を思い起こさせる。 収集した情報を整理・選択して要点をまとめることをつかませたい。	○興味を持って本時の活動内容をつかもうとする態度
見通す 5分	3 作業の手順等について確認する。 (手順) 資料の選択 重要語句の抜き書き 結論	作業の進め方を指示する。 (ワークシート準備)	
追求する 30分	4 『中間まとめ』の作業に取り組む。 ・ サイドラインやアンダーライン ・ 語句の意味調べ ・ 分かりやすく書き換え 5 作業の結果(中間まとめの概略)を発表し、結論について話し合う。 6 自分の予想と比べてどうだったか、感想を出し合う。	個別に机間巡視して各自の特性や進度に合わせて支援していく。 要不要については、その理由も言えるようにさせたい。  結論として要点を的確にまとめたかと、課題に対する結論の整合性について話し合いたい。	○情報を整理・選択、比較して文章にまとめようとする力
振り返る 5分	7 本時の活動を振り返る。	更に深く調べたいことを記入させ、次への意欲を図る。	○本時の活動を肯定的に振り返る態度

(4) 評価

自分たちで調べた情報を選択したり書き換えたりして、課題に対する結論について概略をまとめることができたか。また、更に深く探ったり広く調査したいことについても考え、意見を出し合うことができたか。

(5) 板書計画



グループ	テーマ
<p>課 題</p>	<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>見学先や 資料図書</p>	
<p>資料選び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンダーライン</li> <li>・囲み</li> </ul> <p>重要語句</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味調べ</li> </ul>	
<p>結 論</p>	<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>